

資料提供	
令和2年3月18日	
担当	管財課 太田、門
電話	073-441-2208

和歌山県庁南別館の免震オイルダンパーの交換について

和歌山県庁南別館に設置されている免震オイルダンパー(4本)について、平成31年3月15日の資料提供でKYB株式会社における「追加の不適切行為(原点調整)」に関して適合品との確証が得られないため、全て適合品に交換することを発表したところです。

その後、KYB株式会社等、関係機関と協議を行い、下記のとおりスケジュール等が決定し、交換することになりましたのでお知らせします。

1 南別館免震オイルダンパー交換について

- 日程：令和2年4月10日(金)～20日(月)
- 施工者：株式会社熊谷組
- 行程：①先行養生・資材搬入
 - ②免震オイルダンパーの搬入
 - ・南別館ピロティの一部が立入禁止
 - ③免震オイルダンパー全4本を交換
 - ・現在設置している免震オイルダンパーを外し、新しい免震オイルダンパーに取り替える。交換手順として、現免震オイルダンパーを1台ごと取り外し、新設オイルダンパーを設置することで、複数の免震オイルダンパーが外れた状態にならないようにする。
 - ④旧免震オイルダンパーの搬出
 - ・南別館ピロティの一部が立入禁止
 - ⑤資材搬出・片付け
- 備考：作業時間：8時30分から18時
執務については支障が無いため通常どおり



南別館設置の免震オイルダンパー

2 お問い合わせ先

工事内容でご不明な点がございましたら、下記の連絡先にお問い合わせください。

- ・株式会社熊谷組経営企画本部コーポレートコミュニケーション室 TEL：03-3235-8155
- ・KYB株式会社免制振対応本部 TEL：06-6389-2370

※参考に平成31年3月15日付け資料提供を添付します。

平成31年 3月15日	
資料提供	
担当	管財課 太田、須田、門
電話	073-441-2207(内線 2207)

和歌山県庁南別館の免震オイルダンパーの交換について

和歌山県庁南別館に設置されている免震オイルダンパー（4本）について、KYB株式会社における「追加の不適切行為（原点調整）」に関して適合品との確証が得られないため、全て適合品に交換することとなりました。

なお、同ダンパーを取り付けた条件での建物の構造安全性については、施設を建設した際の設計事業者において確認されています。

【経緯等】

1 「係数書き換え」の不適切行為について

KYB株式会社が行っていた「係数書き換え」の不適切行為に関して、平成30年10月24日、和歌山県庁南別館に設置している免震オイルダンパーについては「4本全てが適合品である」との文書回答があり、その旨公表（10月25日）を行った。

2 「原点調整」の不適切行為について

- (1) KYB株式会社の調査により、「係数書き換え」とは別の不適切行為（原点調整）が確認され、平成30年12月19日に不適切行為の追加事象として公表があった。
- (2) 同社が設置した外部調査委員会の調査報告書（2019年2月4日）では、「原点調整」は、「2008年又は2009年頃に開始された可能性が高い」との報告となっている。【https://www.kyb.co.jp/company/progress/progress_20190213_02.pdf】
- (3) 和歌山県庁南別館に設置している免震オイルダンパーは2006年製造で上記(2)の不適切行為が開始される以前の製品であり、同委員会において不適切行為が行われた製品とは確認されていない。
- (4) 同社では、2014年に導入した免震ダンパー用検査機を使用する前の検査機内に原点調整に係るデジタルデータが保存されておらず、原点調整の有無の証跡が得られず、適合品との確証を得られないため2014年以前に検査した製品は全て適合品と交換するとの方針である。
- (5) 上記(4)の方針に基づき、和歌山県庁南別館に設置している免震オイルダンパー4本は全て適合品に交換となる。

3 交換時期について

県としては早期の交換を求める。

なお、今回の不適切行為の対象ダンパーに係る新たな製品の生産は2020年9月までに完了予定である。

【和歌山県庁南別館設置の免震オイルダンパーの安全性について】

1 現在の製品を取り付けた条件での建物の構造安全性については、南別館を建設した際の設計事務所において、その安全性が確認されている。

2 KYB株式会社では、前回の改ざん公表時、国土交通省の指示に基づき検証を行った7物件（不適合品の中でも、特に基準値からの乖離が大きいオイルダンパーが使用されている物件）のうち、今回の追加事象の影響のある4物件について、再度、第三者による安全性の検証を実施した結果、震度6強から7程度の最大級の地震に対しても十分耐えうることを確認している。